

検討の進め方の再整理について

平成27年8月24日

調整力等に関する委員会 事務局

- 第3回委員会において、長期・短期の調整力に関する検討の進め方についてご議論いただいた。
- その際、短期について、一般送配電事業者が対応する需給変動から議論するのではなく、まず系統全体として必要な予備力・調整力を議論した後に、一般送配電事業者が確保する調整力について議論するほうが望ましいのではないか、とのご意見が複数あった。
- それを踏まえ、全体の検討の進め方について再整理を行った。
 - ⇒個々の検討の進め方は後の各議題にて
 - 議題3：長期断面の検討について
 - 議題4：短期断面の検討について
 - 議題5：マージンの論点整理について

- 予備力・調整力の議論については、系統全体として必要な量の議論からスタートし、その結果を踏まえ、一般送配電事業者が確保すべき調整力やマージンの議論を行う。

予備力・調整力の議論

【Step1】

系統全体として必要な予備力・調整力の算定

評価指標の仮設定

需給変動要因・変動量の検討

必要量・スペック・評価基準の検討

議題3(長期), 議題4(短期)において具体的な方向性について議論

議題5(マージン)において論点を確認

【Step2】

一般送配電事業者が確保すべき調整力の必要量・スペックの整理

予備力共有のための連系線容量確保要否

エリアを跨いだ調整力確保のための連系線容量確保要否

マージンの議論

マージンの在り方(量・配分等)の検討